

会議記録書	
会議名	第24回草津市図書館協議会（委員発言・質問、事務局事業説明・回答要旨）
日時	平成31年2月21日(木) 10:30～12:10
場所	草津市立図書館 2階 会議室2
出席者	岸本委員長、高山副委員長、木津委員、藤野委員、藤居委員、新谷委員、澤村委員 光岡委員 (欠席：吉田委員、石本委員) 事務局（武村図書館長、二井副館長、田中副館長、川端副館長）
傍聴者数	1名
記録作成者	図書館 川端

1. 館長挨拶

- ・草津市図書館運営計画の見直しについて、第22回の会議での意見を踏まえ、見直しを行ったので、再度ご意見をいただきたいです。
- ・1月に実施した「平成30年度草津市立図書館・南草津図書館の利用アンケート」について、速報として、一部の結果を報告します。
- ・次年度の事業計画について、ご意見をいただきたいです。また、その他全体に渡っての多様な意見をいただき、今後の草津市の図書館運営に反映していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

2. 報告事項

(1) 第22回（平成30年度第1回）図書館協議会議事録について

資料1 図書館協議会議事録

- ・議事録は要旨のまとめとし、修正したものを提示して参加委員全員の承認を得た。今後、ホームページにて公開予定。

(2) 草津市図書館運営計画の見直し

資料2 草津市図書館運営計画

- ・前回の図書館協議会でのご意見を踏まえ、見直しを行った。

【見直し点の説明】

① 文言の変更や削除した部分の説明

(具体例)-方向性「人と人の…」を「市民の興味関心に応え…」など具体的な文言に変更、
「高齢者や障害者、外国人などすべての市民…」を「すべての市民…」に変更等。

② 各項目の主な施策事業内容の統合や廃止、追加部分の説明

(具体例)-⑪「レファレンスの拡充」を①「レファレンスサービスの充実」に統合等。

○委員質疑

① 一部文言変更について

- ・マイノリティへの視点が弱くなるのではないか。
- ・生活上の問題と就労やビジネス支援をひとまとめにしてしまうことはどうか。

- ・高齢者への「郵送サービス」と「配本サービス」の違いはどうか。
- ・文章の語尾表現の整理が必要。

②各項目の主な施策事業内容の統合や廃止、追加について

- ・市民との協働の視点での他団体との連携の項目があってもいいのではないか。
- ・「郵送サービス」は、特徴的なサービスなので、きっちり取り上げてはどうか。
- ・草津市らしさのある固有名詞「あおばな」や関連施設名を具体的に明記してはどうか。
- ・学校図書館と公共図書館を「草津の図書館」として捉えてはどうか。
- ・学校教育活動に寄与する学校図書館と、社会教育の枠組みの中での公共図書館を、ひとくくりにはできない。切り分けが必要。良いつながりを検討してほしい。

③その他

- ・YAキャラクターの広報活動の今後の進め方はどうするのか。
- ・キャラクターの効果的な扱い方（着ぐるみで館内巡回など）を検討してはどうか。
- ・「みなくさまつり」のビブリオバトルと図書館とのかかわりはどうなのか。
- ・高校とのかかわりは今後どうしていくのか。
- ・以上の委員の意見を踏まえて修正してほしい。

(3)図書館利用者アンケートについて

資料3 利用アンケート

【一部結果報告(速報)】

配布期間は、平成31年1月5日から18日。両館及び移動図書館にて計4,500枚配布。1月末までに回収。内容については、今年度導入したサービスの認知度を報告。

- ・自動貸出機、ICタグ、Web上のサービス、館内検索機等の認知度や満足度が低かったため、PRや改善等を行っていききたい。次回の協議会で、確定版を報告する予定。

○委員質疑

- ・質問量が多い。質問の工夫が必要だと思う。
- ・返却時にアンケートを渡し館内で記入してもらえると、回収率が上がるのではないか。
- ・配布の方法も検討できればよい。

(4)平成31年度の図書館運営および事業計画について

資料4 平成31年度草津市立図書館事業計画表・南草津図書館事業計画表

【事業等説明】

①新規

- ・国立国会図書館デジタル送信…次年度申請予定
- ・「絵本の広場」の開設…委員から提案があり、「こどものつどい」の際、3階大会議室で開催予定
- ・子どもの居場所づくり事業(つどとこ)への絵本の読み聞かせや本の紹介…月1回実施予定
- ・子ども食堂への団体セット貸出サービスを実施予定

- ・野外おはなし会…5月頃に本館玄関前エントランスにて実施予定
- ・「ミナクサひろば」において、絵本講座やおはなし会を実施予定
- ・「UDCBK」との連携事業を実施予定(主催事業への協力・関係資料の展示等)
- ・展示コーナーの充実

②拡充

- ・乳幼児向けおはなしのじかん…隔月から両館毎月開催。本館は、会場を2階会議室にて
- ・展示事業のリニューアル(他課との連携企画、子育てパパママコーナー設置等)
- ・YAキャラクターを活用した広報や事業の実施
- ・夏休みに向けたおすすめ本の紹介や展示

今回、両館の年間計画表を運営計画の施策や方向性等に添って作成し、「見える化」した。

○委員質疑

- ・それぞれの図書館事業が全体の中でどのような位置づけになるのか、目標意識を持って実施してもらいたい。
- ・YAキャラクターを活用した具体的な企画はあるのか。
(事務局) 案はあるが、具体的には決めていない。企画の段階から中高生に参加してもらい、実施していきたい。
- ・図書館新春福袋企画にICタグをうまく活用していた。
- ・講演会は、市民や関係団体と協力して取り組めた。参加者から内容が良かったとの感想をいただいた。今後このような機会があれば、協力したい。
- ・広報紙「こどものしゅうへん」を園内に掲示しているが、カラー版やポスター版だと保護者の目に留まりやすい。工夫してほしい。
(事務局) 希望がある園には全児童数分を送付しているので申し込んでほしい。
ポスター版等は検討していきたい。
- ・アンケート結果を各館で分けてほしい。
(事務局) 各館で統計を分けている。
- ・ボランティア交流会について、内容が良いのに参加者が少ない。周知の方法や出された意見等の活用についてはどうか。
(事務局) 参加者の学校図書館の運営に関わる意見に対して、図書館側が答えることや活かすことに限界を感じている。今後、ボランティア交流会の有り方について関係を整理していきたい。
- ・読み聞かせのボランティアをしているので、子どもの本に関心がある。子どもが知らない本を、利用している図書館で見つけて読むと新鮮。本選びの参考になっている。
- ・学校図書館ボランティアの育成や支援については、教育委員会事務局の学校政策推進課が担当なので、協議を進めてほしい。
- ・主催ではなく違った形でのかかわり方を考えたらどうか。学校図書館が公共図書館に求めること、公共図書館ができる連携や支援を話し合ってもらいたい。
- ・子どもたちは、図書館を比較的に利用している。もっと頻繁に来たいと思っているが、来館の手立てがない。図書館に来たくとも来られない。

- ・市内の学校に通うの子どもたちに、図書館や本についてのアンケートを実施できれば、子どもたちの考えや思いを捉えることができるのではないかと。
- ・実現は難しいが、子どものための夏休み巡回バスなどがあればよい。
- ・中学生になると部活動があり、本から離れてしまう。学校図書館の課題でもあるので、公共図書館と連携しながら進めたい。チャレンジウィークでお世話になっている。
- ・立命館大学では、文武両道の考え方で、勝ち負けにこだわらず切磋琢磨することや、部活動に、図書館利用ガイダンスや保健指導も含めている。部活動を広く捉えると、人文的な部分にも可能性が広がるのではないかと思う。
- ・事業については、新規、拡充が挙げられているが、効果のないものは、思い切って削減することも必要であり見直してほしい。

3. 事務局より事務連絡

(1) 草津市図書館協議会委員の任期について説明

閉会